

平成 24 年 6 月 18 日

平成24年度総会にあたり

特定非営利活動法人 ポラーノ
理事長 松村 公市

ポラーノの総会も 11 回目を迎え、設立 10 周年を来年に控え、一層の社会的使命を果す事を求められて来ているところだと思います。昨年はポラーノの顔で有り、ポラーノの信用その物であった「川村毅相談役」がご逝去され、大きな支えを失い役員一同危機感で一杯となりましたが、役員を初め、会員・賛助会員・協賛企業・職員の一層のご協力を得て、ポラーノの様々な事業を無事に成し遂げる事ができました。本当にありがとう御座いました。ポラーノも、唯、闇雲に突っ走ってきた 10 年を振り返りながら、この先 10 年を見定めて、中期運営計画を立てることが必要となりました。

指定管理施設も広島県内 6 箇所の指定を受け、24 年度から 5 年間の再指定を受けた庄原市上野総合公園を初め、昨年度 5 年間の再指定のびんご運動公園・東広島運動公園、後 2 年残している廿日市市の 2 箇所と、今年度公募がある三原運動公園の指定を永続的に受ける事だけを予測とした経営計画ではなく、道州制に移行するであろう自治体の変化も予測し、他地域への指定管理者としてのノウハウの提供を利した一層の指定管理施設の拡充を図り、ポラーノの本来の設立目的である街づくりの推進・文化・芸術・スポーツの振興・環境保全活動を一層図るために努力をしたいと考えています。

しかし、一気に拡大した組織だからこそ、改善をせざるを得ない部分も数多くあり、今後の 10 年を、更に大きな使命を果す事を目標とするならば、ポラーノの基盤強化をせざるを得ません。

経営資本は、これまでの指定管理者事業で築いた資金と人材が柱になるのですが、本来のNPO法人の強みを活かした運営をするには、指定管理者事業だけでなく、新たなる事業の柱を作る事と共に、安定資金も、会員や協賛企業の増員、人的資源では人材の育成と共に、ボランティア組織の充実を果す事により安定した経営に結びつけ、ポラーノの資産そのものをも充実させる事を目指す事になると思います。

その為にも、中期経営計画を立案し、来年 1 月 17 日に予定している設立 10 周年記念祝賀会にて発表し、これまでの 10 年を感謝し、新たなる目標に向けて、ポラーノに関わる人たちの総合力で、20 周年を「第三の公共のリーダー」として磐石の信頼を社会から受けているNPO法人ポラーノが存在している。そのような事をイメージしながら最大限の努力をしていきたいと考えます。

会員・賛助会員・協賛企業の皆様には尚一層の期待とご協力をお願いすることと成りますが、広島だけでなく日本全体がポラーノの使命を果たすことで元気な街づくりに貢献できるならば、皆様のご期待にも応える事となると信じていますので、尚一層のご協力をお願いいたします。